八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 方形ツースハロー

現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☒ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. Y110

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 不明

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

砕土整地作業用ツースハロー　２台、　方形ハローは、最も広く普及し、1950年代まで使われた。
砕土整地作業は、プラウ耕後の土塊を破砕し、狭雑物(播種作業の障害除去)を掻き出し、表層を平坦に均す作業であり、播種時に種子が均一深さに播かれ、さらに土壌と密着して水分を吸収し、地温で温まって発芽を容易にすることに重点がある。土塊破砕は、ハローの歯杆によって押し潰す、切る、衝撃破壊するなどの作用で行われるが、唯1回の通過では仕上らないため、縦横方向に順路を取って圃場全体を平らに仕上げる。また、土嚢等を乗せて貫入深さを強くすることもある。

利用経過収集記録意義等

1941～43(昭和16-18)年に戦時下で規格化された統一形式方形ハローの可能性が高い。

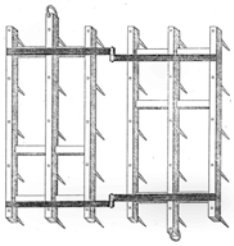
仕様書_解説等

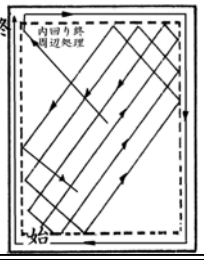
標本1：展示室、2：収蔵庫

関連図1：標本１と同じ
2：七重官園報告書記載ハロー
3：ハロー作業の標準的な順路図

右に全体図

外観特色関連図等





資料の所在

展示場付属倉庫

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

台帳管理番号 ・ Y110

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編